

ICTを活用した外国語学習 -中国語学習とスマートフォンを中心に- 資料

清原文代

(大阪府立大学高等教育推進機構)

2015年度大谷大学中国文学会学術公開講演会
2016年1月8日(金) 大谷大学響流館3階メディアホール

1. まずここから！ — スマホで中国語入力

清原文代「スマートフォンで中国語入力するには?—iPhoneとAndroid」

<http://www.ch-station.org/smartphone-ime-2014/>

スマートフォンの中国語入力(キーボード入力・手書き入力・音声入力)の設定方法

2. 合成音声付きカードで単語を覚えよう！ — Quizlet

(1) Quizlet

<https://quizlet.com>

(2) Quizletのスマートフォン用アプリ (iPhone & Android)

<https://quizlet.com/mobile>

(3) 清原が中国語入門初級クラスのために作ったQuizletの単語カードセットのリンク集

http://www.las.osakafu-u.ac.jp/~kiyohara/JACLE_Kansai_2012_Quizlet/

(4) 清原の作ったQuizletの単語カードセット一覧

<https://quizlet.com/kiyohara>

(5) 今回の講演のためのセット (Quizletのサイトに行って、大谷大学で検索すると出てきます)

<https://quizlet.com/kiyohara/folders/20254464>



3. クラスの4択王は誰だ！ — Kahoot!

学生用

<https://kahoot.it>

清原文代「宅女炒冷飯：スマホを使って教室で楽しく四択クイズができるKahoot!」

<http://www.ch-station.org/chaolengfan0009/>

4. スマホで声調判定 — NHKゴガク「英語発音練習くん&中国語声調確認くん」

<https://www2.nhk.or.jp/gogaku/hatsuon/>

NHKの語学番組（英語・中国語）で使用された例文の音声を使って発音練習ができる。

中国語は模範音声の声調の波形と学習者の声調の波形を重ねて表示する。学習者の声調を模範音声の声調に合わせて矯正したものを再生する機能もある。

iPhone用

<https://itunes.apple.com/jp/app/id1039263781>

Android用

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.or.nhk.gogaku>

5. スマホにあなたの中国語は聞き取れるか?! — 音声入力

(1) スマートフォン (iPhone&Android) の中国語入力 (音声入力も含む) の設定方法

<http://www.ch-station.org/smartphone-ime-2014/>

(2) Dragon Dictation (iPhone専用)

<https://itunes.apple.com/jp/app/dragon-dictation/id341446764?mt=8>

最初は日本語の音声入力になっているので、設定から音声入力したい言語に切り替える。

Dragon Dictationは、Google音声入力 (Android) やiOS (iPhone・iPad) の音声入力より判定基準が厳しい印象があるので、発音練習にはかえってよい。

6. スマホに中国語を読み上げてもらう — 合成音声

(1) iPhone・iPadのアクセシビリティ機能による読み上げ

iOS9の場合：設定→一般→アクセシビリティ→スピーチ→選択項目の読み上げ

Webページ、メモに記入したテキスト、メールの文字を選択して読み上げることができる。

読み上げる際の言語選択はiOSが自動で行う。

(2) Voice Dream Reader (iPhone専用、有料)

<https://itunes.apple.com/jp/app/voice-dream-reader/id496177674?mt=8>

読み上げ音声と同期してテキストがハイライト表示されるので、どこを読んでいるかわかりやすい。

Voice Dream Readerが販売する音声の他に、iOSが内蔵する合成音声も使える。

7. スマホで単語を調べよう — Web辞書 (無料) & 辞書アプリ (有料)

清原文代「スマートフォンで使う中国語辞書」

<http://www.ch-station.org/smartphone-dic-2014/>

8. スマホで自習しよう — Web教材

(1) 東京外国語大学言語モジュール

<http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/>

東外大言語モジュールには中国語、英語、日本語など27の言語の教材がある。スマートフォン対応。

東京外国語大学言語モジュール中国語

<http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/zh/>

(2) NHKゴガクル

<http://gogakuru.com>

NHK語学教育番組(中国語、英語、ハンデル)で使われた例文を音声と簡単な文法説明とともに収録。スマートフォン対応。例文は一つ一つURLを持っている。例文を使われている単語や、例文のテーマで検索する機能もある。

NHKゴガクル中国語

<http://gogakuru.com/chinese/index.html>

9. pinyinや数字の聞き取りに挑戦

無料版では1日あたりの練習問題の種類や量に制限がある。アプリ内購入で有料モードになると制限がなくなる。

(1) Pinyin Trainer by trainchinese

iPhone用

<https://itunes.apple.com/us/app/pinyin-trainer-by-trainchinese/id376797304?mt=8>

Android用

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.molatra.pinyintrainerlite>

(2) Chinese Number Trainer by trainchinese

iPhone用

<https://itunes.apple.com/us/app/chinese-number-trainer-by/id378767080?mt=8>

Android用

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.molatra.numbertrainerlite>

10. ちょっとでも聞き取れるとうれしい！ —中国語のテレビ&ラジオ

(1) 央视影音

中央电视台の番組が見られる。動画はパケットをたくさん使うので、携帯電話の回線ではなく、Wi-Fi接続がオススメ。

iPhone用

<https://itunes.apple.com/jp/app/yang-shi-ying-yin/id331259725?mt=8>

Android用

<https://play.google.com/store/apps/details?id=cn.cntv&hl=ja>

(2) 中国广播

中央人民广播电台の番組が聴ける。

iPhone用

<https://itunes.apple.com/jp/app/zhong-guo-guang-bo/id496145505?mt=8>

Android用

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.shinyv.cnr&hl=ja>

(3) NHK WORLD RADIO JAPAN

NHKが放送する外国語のラジオ番組が聴ける。日本の話題なので内容の予想がしやすい。

iPhone用

<https://itunes.apple.com/app/jp/id530407514>

Android用

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.or.nhk.nhkworld.radio.japan.android>

11. スマホに負けるな、人間！ — 機械翻訳アプリ

VoiceTra

<http://voicetra.nict.go.jp/vt/>

情報通信研究機構（NICT）による音声翻訳アプリ。観光旅行で使うような典型的な文ならそれなりの訳が返ってくることもあるが、間違いも当然ある。翻訳アプリとして使うより、音声入力機能と合成音声の読み上げ機能を利用して発音の練習に使うとよい。

iPhone用

<https://itunes.apple.com/jp/app/id581137577?mt=8>

Android用

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.go.nict.voicetra>

12. 付記、謝辞、この資料のライセンス

(1) 2015年10月30日に中央大学で開催したセミナー「ICTを活用した外国語教育—中国語教育を中心に—」の資料を以下のところで公開しております。この資料と共通する部分もありますが、この資料で紹介していないものもございますので、どうぞご参照ください。

<http://www.las.osakafu-u.ac.jp/~kiyohara/WS/20151030/>

(2) 清原文代『“宅女”の部屋 (Webやアプリを活用した中国語学習法)』

<http://p.booklog.jp/book/84018>

NHK「テレビで中国語」テキスト (NHK出版) の2013年4月号から2014年3月号まで連載したコラム「“宅女”の部屋」をNHK出版編集部の同意を得て、一部加筆修正の上で著者が公開中。2年前の記事ですので、リンク切れになっているところもありますが、なにとぞご容赦ください。

(3) 本資料はJSPS科研費26370680の助成を受けたものです。

(4) この資料はCreative Commons License表示 - 非営利 - 改変禁止 4.0 国際 (CC BY-NC-ND 4.0)で配布します。下記のルールに従ってくださればコピーして他の人に配布して下さってかまいません。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>